

だれもが安心でき、 たすけあうまち。



いつまでも、心地よく、いきいきと暮らせるまちへ。
市民と行政が手を携えて、
心通う地域づくりが進んでいます。

だれもが希望にあふれた未来を描くことができる、市民と行政が連携し協働するまちづくり。安全、快適、健康、子育てなどのさまざまなステージで市民が主体となって企画・運営し、そこに多くの市民が集い交流する取り組みが進んでいます。

A city where all help to keep each other safe.
In a city where we can live in comfort, living life to the fullest, the citizens and government move forward hand in hand to develop the community.
The people and government work together to create a city with a future where everyone can achieve their dreams. In a safe, comfortable, and healthy environment for the various stages of life, including child-rearing, the citizens come together as one body to plan and run the community, a place where many citizens can gather and interact.

祭 イベントの企画・運営を通して
多くの市民が協働しやすい環境づくり。

多くの市民がさまざまな活動に参加できる環境をつくるとともに、地域において活動を担う人材や組織の活動をサポート。ボランティアなどに参加する市民のやりがいや達成感を共有することで、市民協働のまちづくりを進めています。



●あいさいママ・マルシェ
NPO、市民、地元の企業や商店、行政が協働して開催する、子育てに特化しながらも市民の交流を促す愛西市独自のイベント「あいさいママ・マルシェ」。地域の人々が力を合わせ、子育て家族と子どもたちの健やかな成長をサポートしています。



●市民体育大会
市内各地区の推進協議会が中心となって企画・運営し、市民の健康づくりと交流に取り組んでいます。



●納涼まつり
毎年開催している「納涼まつり」は、地域の実行委員会が主体となって企画・開催しています。継続的な活動に向けて、あらゆる活動団体と連携を図ることにより、さまざまな世代が楽しみながら参加できるイベントとしていくことが期待されます。

地 域の特性、要配慮者の情報も共有する 市民が主役の防災活動。

熊本地震や東日本大震災・阪神淡路大震災の教訓を踏まえ、大規模災害発生時には、自助・共助の重要性が再認識されています。地域における防災活動の重要性が高まる中、平常時からの備えを啓発するとともに、消防団や自主防災組織を中心に地域に応じた防災力の向上を図っています。また、避難に支援が必要な高齢者がどこに住んでいるか、避難所ではどのような配慮が必要なのかなどについての情報共有が進んでいます。



●総合防災訓練



●地区自主防災会合同防災訓練 / 地区の自主防災会が中心となり、地域住民や小中学校の児童生徒と消防団も加わり合同訓練を実施しています。

A i Report

人ひとりが地域への愛着を深め、 安全で、快適なまちをつくる取り組み。

市民が主体となったまちづくりを進めるためには、一人ひとりが、自分が暮らす地域に興味を持ち、愛着を深めるきっかけとなる取り組みが必要です。そこで、地域の豊かな自然環境の保全や環境配慮活動など、子どもからお年寄りまで、だれもが参加できて、しかも多世代が交流できる機会を大切にしています。こうした活動を通して市民協働による快適なまちづくりを進め、次世代に良好な環境を伝えます。



●ごみゼロ運動
地域の良好な環境づくりのため、地元企業や地域住民との協働により、地域を清潔に、美しく保つ活動を行っています。



●親水公園の花壇ボランティア
緑豊かで美しいまちを実現するため広く花壇ボランティアを募集し、多くの皆さんの協力を得て親水公園の花壇を色鮮やかな花で彩っています。



女性消防団員

消防団は、仕事や年齢もさまざまな人たちが「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神で活動している地域密着型の組織であり、消防防災のリーダー。男性が多い組織ですが、愛西市では災害時に女性や子どもの支援をしやすくするために女性消防団員の育成に力を入れています。所属する団の活動に加え、地域の防災活動や市のイベントでの広報活動などでも活躍が期待されています。

大箸 結以さん / 佐織第一分団
消防団に入って、まず自分自身の防災意識が高まりました。そして、町内や地域の皆さんと関わるが増え、顔見知りも増えました。子育て中ですが、家族にも支えてもらえるので、できるだけ長く続けたいですね。

仲間を増やして、女性だけで訓練できるような団をつくれたらいいですね。

中野 麻衣さん / 立田第一分団
高齢の方など災害時に支援が必要な方や小さいお子さんが、どこに暮らしているのかを把握していれば、避難の時にとても心強いです。地域のつながりを大切にしながら、いざという時に役に立てる仕事ですね。

大野 由美さん / 佐屋第一分団
看護師の仕事をしているので、応急手当や救命救急の知識と経験を活かした消防団活動を目指しています。日々の活動では、地元の人々とふれあひながら、地域の防災意識の向上に役立ちたいと思います。

中野 涼香さん / 立田第一分団
イベントでの広報活動などを通して、女性消防団員の存在はすいぶん認知されてきたように感じています。これからは、もっともっと

